

教授 金子 敦子

教育上の能力に関する事項	年 月 日	概 要
◎教育方法の実践例 教職特別講座 (レクチャーコンサート) 「共通教材に親しもう！」	2016. 12. 5 (名古屋芸術大学東キャンパス 4号館：多目的ホール)	文科省により定められている7曲の歌唱共通教材に親しむ機会を設け、学生たちに7曲に対する理解を深めさせることを目的として、曲の解説を交えてコンサートを実施した。演奏曲については、アレンジを行い(フルート、ヴァイオリン、歌)、学生たちが7曲の素晴らしさを十分に味わえるように工夫した。7曲に加えて、教育現場で良く取り上げられるカンツォーネや、愛知県の伊良湖岬で誕生した《やしの実》(鳥崎藤村：作詞、大中寅二：作曲)なども披露した。 (演奏：本学非常勤講師、助手、解説：金子)
音楽教育コース学外授業 「共通教材《赤とんぼ》の里 (兵庫県たつの市を訪ねる) (「音楽教育Ⅲ」の一環として)	2017. 2. 21～22	「音楽教育Ⅲ」(ゼミ)では、1年にわたり「7曲の共通教材」について研究・調査を行ってきたが、そのまとめとして、共通教材の1曲である《赤とんぼ》(三木露風：作詞、山田耕筰：作曲)の作詞者三木露風の生誕地(兵庫県たつの市)を訪ねた。三木の生家や記念館等を訪れ、三木の生涯に触れるとともに、この曲ができた経緯、三木のその他の作品等に接し、作品誕生の背景を学んだ。

著書、学術論文等の名称	単著、 共著の 別	発行又は発表 の年月	発行所、発表雑誌等又は 発表学会等の名称	概 要
◎学会発表 日本音楽学会中部支部 第117回例会 研究報告： DVD「一絃の琴 二絃の琴」 の紹介		2016. 7. 16	名古屋芸術大学東キャンパス 5-301教室	本DVDは、幕末から昭和初期にかけて日本で広く流行した少数絃(絃数の少ない琴：一絃琴、二絃琴)の歴史、伝承、現状を記録している(解説書付き)。今日では、少数絃の伝承者は限られた人たちのみになってしまったが、「日本の楽器」という観点からは、日本の貴重な音楽文化である。その記録資料(DVD)の内容等について報告を行った。なお、本DVDは、本学の研究助成を受け、浜松市楽器博物館との共同研究・調査により作成したものである。

<p>◎講習会 第2回 絹の琴糸弦を締め る講習会</p>		<p>2017. 1. 30</p>	<p>名古屋芸術大学東キャンパス 2-203教室</p>	<p>第1回は東京での開催だったが（平成27年）、第2回は地方で行うことになり、本学で実施した。箏の演奏に際して、箏糸締めは専門家に任せられる仕事である。今日、テトロン弦の需要が多いことから、糸締めの専門家たちは、テトロン弦の糸締めには慣れているが、本来の箏糸である絹弦を締められる専門家は極めて少ないのが現状である。「絹の音色＝日本の文化」であり、日本の絹文化を継承してゆくために、糸締めの専門家を対象に講習会を実施した。詳細については、報告書（国産絹弦普及の会 発行）を参照。なお、本講習会は、蚕糸科学研究所の助成により、国産絹弦普及の会（代表：徳丸吉彦）の一事業として実施した。</p>
<p>◎社会活動 平成28年度 全国子供大正琴コンクール</p> <p>浜松市楽器博物館企画展 「一絃の琴 二絃の琴～現在 に伝わる和の響き」</p>		<p>2016. 8. 27</p> <p>2016. 9. 11 ～10. 11（開 催期間）</p>	<p>ウィルあいち ウィルホール（名古屋） 主催：公益社団法人大正琴協会</p> <p>浜松市楽器博物館</p>	<p>審査員。大正元年に名古屋市出身の森田吾郎により発明された大正琴の次世代への継承を目的として、平成18年から始まったコンクール。対象者は全国の高校生以下の大正琴愛好者。ビデオ部門と当日演奏部門に分かれ、当日の審査員をつとめた。</p> <p>考証協力。浜松市楽器博物館において、上記DVDに関連して、企画展が開催された。企画展では、兵庫県の須磨寺、奈良県の飛鳥寺、各楽器の保存会等が所蔵する貴重資料（楽器、楽譜、その他）がひと月にわたり展示され、さらにワークショップ（一絃琴を弾こう）も実施された。本企画の実施に際して、考証協力を行った。</p>